## 安定型処分場 公表する維持管理の好況に関する情報

7 /1	四人 ウマト 立 光 広 春 物 の 々 口 づ し の 廷 将 刀 メ ( **) 見								
[1]	埋め立てた産業廃棄物の各月ごとの種類及び数量								
	H27年 10月	取扱品目	単位	数量					
	1214   10月	がれき類	m3	女里 0.0					
		ゴムくず	m3	0.0					
		ガラス陶磁器くず	m3	0.0					
		アプラスチック類	m3	0.0					
		鉄くず	_	0.0					
		妖	m3	0.0					
	擁壁の点検に関する次に掲げる事項								
1 - 1	12年201年代に対する人に同じる事項								
	[1] 当該点検を行った年月日及びその結果								
		H27年10月9日		良好					
	あると認められた場合に措置を講じた年月日								
	及び当該措置の内容	無		無					
	及り当該指量の内台								
[/\]	残余容量の測定を行った年月日及びその結果		l						
17 11	スポ合重の別たで11 7/24月日及しての個本	H27年1月14日		0 m3					
$( \Box )$	展開検査に関する次に掲げる事項								
.—,	及所以西に入りの人に高いの手が								
	[1] 当該検査の各月ごとの実施回数	^		/0.00I)					
		0		(品目別)					
	[2] 当該検査の結果、安定型産業廃棄物以外の								
	廃棄物の付着又は混入が認められた年月日	無							
[木]	水質検査に関する次に掲げる事項								
	[1] 当該水質検査に係る地下水又は浸透水を	רוואת ב		nn —					
	採取した場所	別紙	F面図にE	<b></b>					
	[2] 当該水質検査に係る地下水又は浸透水を								
	採取した年月日								
		別紙	計量証明	P <del>⊉</del>					
	[3] 当該水質検査の得られた年月日	力リ和式	可里証外						
	   [4] 当該水質検査の結果	-							
	「14」    一切の小見が且りがです。								
	II.								
$[\wedge]$	へ】 水質悪化時における生活環境の保全上必要な措置に関する次に掲げる事項								
' '1	小貝本心はにいける土心保保の体土上必安な沿直に送りる人に釣ける争点								
	[1] 当該措置を講じた年月日								
		無							
	[2] 当該措置の内容		ATTT						
ĺ			無						

H26年9月末日をもって、当施設による廃棄物受入れを終了致しました。

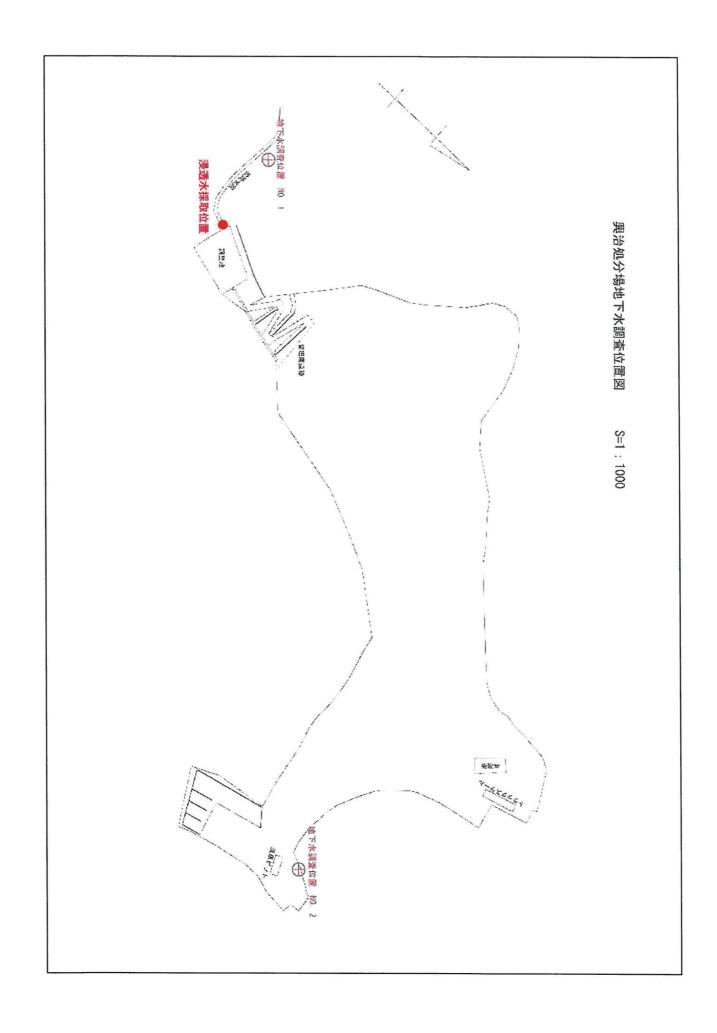
よって、埋め立てた産業廃棄物の数量は各取扱品目とも「0」となっております。

したがって、残余容量は既に0.0m3であり、残余量測定値*0* 結果は1度/年の記載更新をおこないます。

維持管理期間は本文書による

モニタリング情報を継続して把握に努めます。





## 計 量 証 明 書

平成27年11月4日

株式会社 美 建 三木興治最終処分場 様

試料名 浸透水

備考:

計量しておりません。



環境計量証明事業登録 兵庫県計証第濃64号 有限会社 環 研

〒675-0011 兵庫県加吉川市野口町北野1297番5

中水水位 川州村 日刊 4世

Tel. (079) 422-6448

(\*印の項目は、計量法第107条の対象外です。)

Fax. (079) 422-0555

環境計量士(第環2771号) 林

林 織

貴依頼による計量結果を次の通り証明します。

採取区分				
計 量 の 対 象		計量の結果	基準値	計量の方法
* 採取時刻				/
* 水温	(°C)			7
化学的酸素要求量(COD)	(mg/L)		40	JIS K0102-17
生物化学的酸素要求量(BOD)	(mg/L)	<del></del> -	20	JIS K0102-21, 32.3
水銀及びその化合物	(mg/L)		0.0005	昭和46年12月28日 環境庁告示第59号 付表3
カドミウム及びその化合物	(mg/L)		0.003	JIS K0102-55.3
		以下余白		

渇水の為、水量不足となり、10月分浸透水の採水が出来なかったことから、